



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

# Nitobe College

新渡戸カレッジ 学部教育コース



目指せ！北大発グローバルリーダー



TOP GLOBAL  
UNIVERSITY  
JAPAN

## 新渡戸カレッジ生を目指すみなさんへ

新渡戸カレッジは、豊かな人間性をはぐむための学部横断的な特別教育プログラムです。本カレッジ名の由来である新渡戸稲造は、豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す「全人教育」の規範となる大先輩です。私たちの社会のグローバル化が急速に進行し、人や物や情報が瞬く間に世界を駆け巡る現代において「新渡戸稲造の精神」が重要性を増してきています。このカレッジを構想するにあたり、本学は新渡戸稲造の精神を三つにまとめました。それは、第一に「深い倫理性に基づいた品位ある自律的な個人の育成」、第二に「それぞれの文化的・社会的背景に根ざしたアイデンティティを確立し、互いに尊重し合う国際精神の涵養」、第三に「相互に親しく交わる国際的教育組織の実現」です。

新渡戸稲造は、本学の前身である札幌農学校の第2期生であり、また教員として札幌農学校に11年間に在籍しました。国際連盟事務次長を務めるなど近代日本きっての国際人であると同時に『武士道』をはじめとする数多くの著作を発表した文筆家でもあります。この新渡戸稲造の活動のように、幅広い分野にわたって、高い精神性と異文化理解、コミュニケーション能力を身につけた人材を数多く育成することが、総合大学としての本学の使命と考えています。このような理念のもとに、2013年4月、新たな特別学士課程プログラムとして「新渡戸カレッジ」を創設しました。

新渡戸カレッジの特色の一つは、大学が社会とともに、みなさんに教育を提供し、研究するという本学が掲げる「実学を重視した研究・教育」の、新たな実践の場であるということです。この新渡戸カレッジの新たな挑戦を実現するために、すでに社会で活躍されている国際経験豊かな本学同窓生等に、カレッジ副校長やフェロー・メンターとして協力を得て、新渡戸カレッジ生の学修やキャリア設計を支援していただいております。これは、日本の大学ではじめての試みです。カレッジ生のみなさんは、フェロー及びメンターの方々の貴重な経験や知見を学び、積極的に活用されることを望みます。



新渡戸稲造の銅像  
(北大花木園)

新渡戸稲造は、21歳の時に「我、太平洋の架け橋たらん」という志をもって、その後の人生設計を構築していきました。みなさんも、この新渡戸カレッジとともに歩みながら、自らの「夢」を膨らませてください。

また「夢」の実現には、自らの努力が最も重要です。これまで本学からグローバル人材が育った理由の一つに、札幌農学校の初代教頭のクラーク博士が「Be gentleman.」の一言を校則とし、学生の自律心、独立心を目覚めさせたことが挙げられます。「gentleman」の意味を自ら追求するとともに、各々が各自の目標を設定し、それを誠実に実践することを期待します。

# 新渡戸カレッジの特長

1

## グローバル・リーダーを育成する2段階の教育プログラム (☞ P.3)

基礎プログラム(1年間)と  
オナースプログラム(2年目から卒業まで)の、  
2段階によりプログラム全体を構成します。

### 基礎プログラム

目標)リーダーシップ  
の重要性と国際社会  
の理解を促します

2年目以降  
オナース  
プログラム

1年目  
基礎プログラム

### オナースプログラム

目標)グローバル社会  
でリーダーとして活躍でき  
る能力を養成します

2

## 自律的な個人の確立と専門能力を高める留学制度 (☞ P.5)

海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の確立、論理的な思考力と高い専門性を身につけることを目的とした多様な留学プログラムを提供します。また、各種奨学金制度により渡航費や留学中の生活費を支援します。

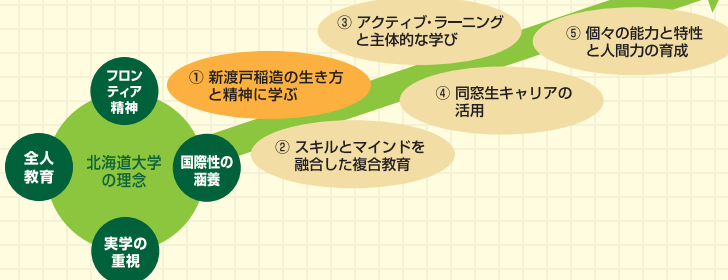
3

## リーダーシップに必要なスキルとマインドを 育む独自のカリキュラム (☞ P.4)

「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」および「実学の重視」という北海道大学の4つの基本理念に加え、新渡戸カレッジ生の「リーダーシップ力」を涵養するために、次の5つの方針の教育を行います。



グローバル・リーダー



(☞ P.6)

4

## 国際経験の豊かな同窓生等からなるフェロー及びメンターによるキャリア支援

フェロー及びメンターとの出会いを通して、新渡戸カレッジ生は、人生の意味、大学で学ぶことの意義を考え、自己省察する機会が得られます。社会経験、人生経験豊かなフェロー及びメンターと身近に接し対話することで、カレッジ生は、視野を広げ、世界が直面する諸課題を身近なものとしてとらえる力を鍛えると同時に、やる気を高め、将来の人生設計(キャリアデザイン)の検討への第一歩を踏み出すことができるでしょう。

# 新渡戸カレッジ基礎プログラム 学部教育コース

## 入校要件

新渡戸カレッジでは、2段階方式で入校生を決定します。

1

2021年度に北海道大学に入学又は2年次に進級した学部学生の中から、新渡戸カレッジ入校希望者を募集します。新渡戸カレッジ入校の志望理由書(600字程度)を審査し、仮入校生を決定します。

2

一定レベルの英語能力(TOEFL-iBT61点=TOEFL-ITP500点以上)を有し、1学期に全学教育科目総合科目特別講義「グローバル基礎科目(春ターム・夏ターム)」(合計2単位)の単位取得状況を総合して審査し、9月中旬に正式に入校生が決定します。

※日程、申込方法は新渡戸カレッジのウェブサイトでお知らせします。 <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

※TOEFL-ITPの詳細はTOEFLテストのウェブサイトをご覧ください。 <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

4月

### 仮入校

2021年度に入学した学部学生  
新渡戸カレッジ入校の志望理由書を審査し選抜

9月

### 正式入校

一定レベルの英語能力(TOEFL-iBT61点=TOEFL-ITP500点以上相当)と  
所定の単位及びポイントを取得

## 修了要件

基礎プログラムにおいて、所定の単位と新渡戸カレッジポイントを取得した者には「新渡戸カレッジ基礎プログラム学部教育コース修了証書」を授与します。

## 基礎プログラムの必修科目

### グローバル基礎科目

次の2つの授業から構成されます。

- ▶ 留学を、自分の目指す学びや研究を実現させるための手段として位置づけ、計画をたてる「国際理解と海外留学」
- ▶ リーダーのあり方や必要な資質などについてグループワークによる実践を通して考える「リーダーシップとチームワーク」



### 留学支援英語

- ▶ 英語を母語とする講師による少人数クラスによる実践英語
- ▶ 英語によるコミュニケーション能力の向上
- ▶ 留学時に必要なアカデミックスキルの修得



### 新渡戸学(フェローゼミ)

- ▶ フェローの主導により現地視察の中から課題を発見しグループワークにより課題解決方法を探る演習
- ▶ 現地視察の例～札幌市中央卸売市場の見学



授業科目	単位	修了要件	修了に必要な単位数
留学支援英語	2	必修	2単位以上 (留学支援英語2単位は必修)
海外短期語学研修	2	選択	
国際交流科目	1又は2	選択	
日本文化・社会に関する理解増進科目	1又は2	選択	
英語による学部専門科目	1又は2	選択	
グローバル基礎科目(リーダーシップとチームワーク)	1	必修	3単位以上 (グローバル基礎科目、 新渡戸学(フェローゼミ) 合計3単位は必修)
グローバル基礎科目(国際理解と海外留学)	1	必修	
新渡戸学(フェローゼミ)	1	必修	
フィールド型演習	2	選択	
多文化交流科目	2	選択	
大学と社会	1	選択	
グローバル・キャリア・デザイン	2	選択	

# 新渡戸カレッジオナーズプログラム 学部教育コース

## 海外留学

新渡戸カレッジの海外留学には長期留学プログラム(交換留学)と短期留学プログラムの2種類があります。新渡戸カレッジでは「海外留学」として、長期留学(交換留学)を奨励しています。ただし、所属する学部・学科カリキュラムの関係上長期留学が困難な場合においても、さまざまな短期留学プログラムを提供しています。また、北海道大学では各種奨学金制度を設けており、渡航費や留学中の生活費を支援します。

### 長期留学プログラム(交換留学)

短期留学  
スペシャル・プログラム

学部専門レベル  
短期留学

国際  
インターンシップ

### ● 長期留学プログラム(交換留学)

#### 長期留学プログラム (交換留学)

交換留学は、北海道大学の交流協定大学(およそ50の国と地域、250あまりの大学等)に1年未満留学する制度です。留学先で取得した専門科目の単位が、所属部局が認める範囲内で設定されます。

### ● 短期留学プログラム

#### 短期留学 スペシャル・プログラム

海外の協定大学等において、英語で開講される授業や実習等を通して、より専門性の高い科目を学ぶプログラムです。

#### 短期留学スペシャル・プログラムの様子



ブリティッシュ・コロンビア大学



ワシントン大学



スイス・ジュネーブ大学(WHOなど)

#### 学部専門レベル 短期留学

学部等が独自に開発し、単位認定している短期留学プログラムです。詳細は、所属する学部等でお問い合わせください。

#### 国際インターンシップ

海外における企業等での研修を通して総合的な人間力を培う実践的キャリア教育プログラムです。



## 対話プログラム

オーナーズプログラムで学ぶカレッジ生は、フェローと一対一の面談を行うことができます。

- ▶ 学生が、フェローの国際感覚や経験に触れ、考える力・行動力・チームワーク力・人間性などを高めることを目的に、年数回実施します。



- ▶ 対話は、学生が将来や進路など自分が設定したテーマについて希望のフェローと話し、助言を受けてさらに考え、行動につなげるという形で進めます。



- ▶ 参加を通して、多様な考え方を学び、大学生活、進路、人生、自分自身などを新たな視点から捉えることができた、視野がひろがったなど、さまざまな効果が挙げられています。

※詳しくは新渡戸カレッジウェブサイト <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/u/dialogue/dialogue-voice> の「参加学生の声」をご覧ください。

## 修了要件

卒業時、新渡戸カレッジ科目11単位以上、TOEFL-iBT80点以上、成績上位50%以内の全てを満たした修了生には、英語と学部教育の成績により、以下の3段階の称号を付与します。

新渡戸カレッジ  
**Summa cum Laude**  
(= with highest honor)

TOEFL-iBT 100点以上、所属学部学科等における通算GPA(成績)が上位15%以内

新渡戸カレッジ  
**Magna cum Laude**  
(= with great honor)

TOEFL-iBT 90点以上、所属学部学科等における通算GPA(成績)が上位30%以内

新渡戸カレッジ  
**Cum Laude**  
(= with honor)

TOEFL-iBT 80点以上、所属学部学科等における通算GPA(成績)が上位50%以内

# Students' Voice

## 北大を目指すみなさん、 刺激的な体験と仲間が待っています

### 長期留学プログラム(交換留学)



理学部4年  
沖上 和希さん

私は5ヶ月間スウェーデン王立工科大学に交換留学をしました。留学生が多い大学を選んだこともあって世界中から学生が来ており、多国籍な環境で様々な価値観に触れて、将来のキャリアに対する視野を広げることができました。このような環境で人と協力しながら成果を出すという能力はこれからの時代に必要不可欠になってくると思います。実際私は留学後に行ったOIST(沖縄科学技術大学院大学)での2ヶ月のインターンにて、世界中から研究者の集まる環境で留学経験のおかげでより有意義な研究、体験ができたと思います。留学の目的や得るものは人それぞれだとは思いますが、必ず人生にプラスになるので、もし少しでも興味があるのならぜひ挑戦してみてください。



### 短期留学プログラム(短期留学スペシャル・プログラム)

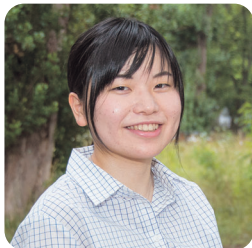


農学部4年  
安藤 亮博さん

数あるプログラムの中でもカナダの短期留学は、ホームステイすることや講義内容も文理をあまり問わないことなどが魅力だと感じ参加しました。自然豊かなカナダの地と広大な敷地を持つリティッシュ・コロンビア大学で、SDGsや国としてのサステナビリティへの取り組み、その他環境問題や社会問題、更には国民のエコ意識や多文化を受け入れる寛容さなど多くのことを、自分の五感や講義を通じて、ともに参加した学生やホストファミリーとの交流を通じて知ることができました。初めて海外に行く人でも行って良かったとなるはずです!



## フェローゼミ



法学部2年

網敷 千時さん

実際に現地を視察して学ぶとともに、グループワークを通して、学問と社会のあり方や持続可能な社会のあり方を考える。」この目標の下に行われるフェローゼミでは、文理を超えたテーマを学び、現地視察や議論をしていくことによって、他の授業では得られないものを身につけられたと、私は感じています。何より豊富な知識を持つフェローや、多様な考え方を持つ支援員、ゼミ生との出会いは自分の世界を広げてくれます。

## セルフキャリア発展ゼミ



医学部保健学科3年

三木 綾花さん

1泊2日の合宿中に自分の将来実現のため今取り組むべきことといった、普段あまり考えないような事について考えました。フェロー・メンターの皆さんの講演や自分の考えへのフィードバックをいただき、他学部の先輩方と様々な話をしたことで視野が広がったように思います。合宿後にもその後の取り組みについて発表しアドバイスを受ける機会があったことで、目標を意識して取り組みはじめるきっかけとなりました。

## 対話プログラム



文学部4年

川崎 香穂里さん

リーダーシップとは何か、何のために働くのか、価値観の違う人との付き合い方…。普段は中々話さない、ぼんやりとした悩みや疑問を話し、アドバイスをいただきながら自分で考えています。人生の先輩からの数々のお言葉には、生きる上での大切なヒントが沢山散りばめられています。新しい考えに触れつつ、自分を客観的に見つめ直して生き方を模索する、とても有意義な時間です。新渡戸カレッジならではの貴重な機会、利用しない手はありません。

# 新渡戸カレッジのフェロー・メンター制度

## 同窓生等によるキャリア教育



北海道大学は「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」の4つの基本理念のもと、国内外の様々な分野においてパイオニアやリーダーなどとして活躍する人々を輩出してきました。

こうした同窓生等のなかから選ばれた人々が「**新渡戸カレッジフェロー・メンター**」となり、新渡戸カレッジ生のキャリア教育に携わります。

新渡戸カレッジ生は、フェロー及びメンターによるゼミ（「フェローゼミ」「セルフキャリア発展ゼミ」）、講演会、メンタリングプログラム（「対話プログラム」）などさまざまなプログラムを通してフェロー及びメンターの知見と経験に触れ、グローバル社会で貢献できる人を目指して成長する上での糧とすることができます。

## 誰も君のチャート(海図)を 描けない



1982年法学部卒業

一般社団法人社債調査センター代表理事

### 廣重 勝彦 フェロー

フェローゼミの意義は、君の住む世界(アーキテクチャ)が理解できるようになること、その結果として自分の進むべき方向が具体的にイメージできるようになること、さらに未来を生き抜くための必要アイテムが見えてくることです。

2020年代は、AI・ビッグデータ・5Gが主要な社会基盤となり、少子高齢化が加速し、気候変動が顕在化することがほぼ確実です。言い換えれば、未知の領域であり誰にも正しい答えが出せない世界。だからこそ君は自ら未来のチャートを描き、様々な人と協力して課題を克服しながら進んでいくしかありません。その力を養う場がフェローゼミです。

ゼミでは私が実体験したスタートアップに取り組みます。未来を生き抜くための能力を養う最高のテーマだからです。そこでは社会に存在する「なぜ」を発見し(不都合な事象を発見し)、それをどうやったら自分の力で克服できるのかを、現実の起業家にも参加してもらって追及していきます。そのなかで北大発スタートアップになれば最高ですが、仮にそれがうまくいかなくても君の最高の財産になるはず。①自分で考えて実際にやってみること、②失敗から学ぶことの二つが未知の世界を生き抜く真の力だからです。君のチャートを描くことができるのは君だけです。

## 大学生のうちに 大いなるチャレンジを



2016年教育学院卒業

株式会社ハッピーアロー代表取締役

元テレビ北海道アナウンサー

### 森 順子 フェロー

昔から旅のリポーターに憧れ世界に興味を持ち、東京の私立大学で地理学を学んだ後、アナウンサーに。様々な国への旅行のほか、コスタリカやオーストラリアにそれぞれ約1か月短期留学した経験があります。語学勉強は大変でしたが、その土地の文化や歴史を肌で感じられ、外から日本を見る力が養われました。

テレビ局退職後は、直接伝えて相手を前進させる仕事がしたいと思い、講師に転向しました。学生みなさんに世界を旅して学んだ経験も伝えられ、やりがいを感じています。

新渡戸カレッジでは、学年が上がるとともに生き生きしている方が多いと実感しています。違う分野の仲間と接することで多様な価値観が増え、留学やイベントを通してグローバルな視野が身につけられると思います。進路の不安を抱える方もいますが、様々な分野のフェローがアドバイスやサポートをします。

実は私は、子育て中に教育の大切さに気づき、教育サービスの会社を起業。同時に北大大学院に社会人入学し教育の研究をしていました。人はいつからでもチャレンジできます。でも、せっかくなら大学生のうちに、やりたいことに是非チャレンジしてみてください。人生は一度きり。応援しています。



# 北大「新渡戸カレッジ 学部教育コース」とは

各学部での教育にプラスして、グローバル社会で活躍するために必要なスキルとマインドを身につけるプログラムです。

北海道大学12学部の全ての学生を対象とした学部横断的教育カリキュラムです。

学部教育



新渡戸  
カレッジ

グローバル社会の  
リーダーに必要な  
スキルとマインド



グローバル社会で  
活躍できるリーダーに!

お問い合わせ先

北海道大学

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学 学務部教育推進課 新渡戸カレッジ推進事務室 新渡戸カレッジ担当(学部)

TEL 011-706-5414

Email nitobe-college@academic.hokudai.ac.jp

URL <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/u/>